

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (演習)	3. 科目番号	PSMP3151
2. 授業担当教員	平久江 薫		
4. 授業形態	グループ発表、ディスカッション、体験学習 (ロールプレイなど)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	臨床心理学や心理学支援法 (基礎) の授業を履修していること		
7. 講義概要	<p>心理学的支援法とは、何らかの援助を求める人(クライアント)に対して、行動変容を目的として、言語的・非言語的なコミュニケーションを道具として援助しようとする試みのことであると考えられがちである。しかし現代社会においては、心理援助を行う者の心構えは(カウンセリング・マインドと言われる)、対クライアントのみならず、地域支援やクライアント関係者、また大学での友人関係や部活動並びに職場や家庭においても「お互いに支えあう人間関係」を築く上で、重要な考え方とあり方を示唆している。そこで、本演習では、カウンセリングの理論と技法を学ぶと共に、より広く訪問支援や地域支援、クライアント関係者支援などの援助についても学び、自分の日常のコミュニケーションのあり方を振り返りながら、相手に寄り添うより適切な援助法を身に付ける。また、守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮も学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めているのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法(論理療法)を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>各回の振り返り、発表後のワークシート、期末レポートを課する。 レポート課題：授業内で学んだ個人またはコミュニティへの支援のうち一つをテーマとして選び、その支援法の要点と授業及び授業前後で自身が体験したことをまとめ記述する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】指定なし 【参考書】渡辺三枝子 『新版カウンセリング心理学』ナカニシヤ出版、2018 窪内節子編著『やさしく学べる心理療法の基礎』培風館、2003 杉原保史・福島哲夫、東齊彰 『公認心理師標準テキスト 心理学的支援法』北大路書房、2019</p>		
11. 成績評価の規準と評価の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めているのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法(論理療法)を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。 <p>○評価の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 授業への参加(出席、態度、発言) 50% レポート・発表・確認テスト 50% 以上で評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>心理学的支援法(基礎)で学んだことを踏まえて、心理学的支援法についてさらに知見を深めます。発表や演習形式の授業を通じ、自身のコミュニケーションやカウンセリング・マインドについて、また、それらを周囲の人との関りや社会において活かす視点について身につけましょう。</p>		
13. オフィスアワー	授業内で周知します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、自己点検チェックリスト	事前学習	心理学を学ぶ動機、学びたい内容について各自考えてくる
		事後学習	自己点検チェックリストの振り返りと今後の学習目標
第2回	カウンセリングの歴史と現代社会の問題について	事前学習	心理療法やカウンセリングの歴史について調べておく
		事後学習	それぞれの心理療法の歴史的つながりや流れをまとめる
第3回	心理療法各論①精神分析	事前学習	精神分析、フロイトの理論についてこれまで学んだことを復習
		事後学習	精神分析の概念や治療の流れについて振り返る
第4回	心理療法各論②来談者中心療法	事前学習	カール・ロジャーズの理論、カウンセラーの3条件について復習をしておく
		事後学習	日常場面で受容・共感の態度を心掛ける
第5回	心理療法各論③行動療法	事前学習	自身が苦手なもの、恐怖心を頂くものについて記述する
		事後学習	リラクゼーションの練習を日常的に行う
第6回	心理療法各論④認知行動療法	事前学習	ここ最近で不快な気持ちになった出来事についてメモする
		事後学習	認知のワークシートの記載

第7回	心理療法各論⑤遊戯療法	事前学習	自分が幼少期(10歳頃まで)に夢中になっていた遊びについて思い起こし記述する
		事後学習	遊びを通じた他者との交流についてまとめる
第8回	心理療法各論⑥芸術, 表現療法	事前学習	自分自身の「創作活動」について考える
		事後学習	自分自身の日常における創作について考えをまとめる
第9回	心理療法各論⑦ストレスマネジメント	事前学習	自分自身のストレス解消方法について振り返っておく
		事後学習	今後の自身のストレス管理について検討する
第10回	心理療法各論⑧集団心理療法	事前学習	自身の集団活動についてのエピソードを振り返る
		事後学習	日常のグループ活動においてファシリテーションの視点を持つ
第11回	カウンセリング演習①	事前学習	カウンセリングの基本技法について復習しておく
		事後学習	演習における自分自身の体験について振り返りを記述する
第12回	カウンセリング演習②	事前学習	話を聴く時の自身の課題について検討しておく
		事後学習	演習における自分自身の体験について振り返りを記述する
第13回	地域支援、危機介入について	事前学習	地域支援、危機介入について調べたことを記載しておく
		事後学習	今回の事例から学んだことをノートにまとめる
第14回	関係者に対する支援および他職種連携、チーム援助	事前学習	クライアントを取り巻く人とはどのような人々か考える
		事後学習	システムズアプローチについて復習する
第15回	心理学的支援における倫理、まとめ	事前学習	カウンセラーが守るべき倫理事項とはどのようなものであるか想像する
		事後学習	倫理の復習と自己点検チェックリストの振り返り